



夕鶴の里資料館報
 平成27年5月20日
 第 53号
 発行 夕鶴の里
 TEL 47-5800

おきたま語りフェスティバルが
 開催されます！

来る六月二十八日(日)に、夕鶴の里語り部ホールにて、第六回『おきたま語りフェスティバル』が開催されます！
 「おきたま語り部の会」は、置賜地方で活動している十一団体の語りを中心に活動している会で結成されました。

- 米沢市「とんと昔の会」
- 南陽市「民話会ゆうづる」
- 「夕鶴の里友の会」
- 高島町「まほろば語り部の会」
- 「二井宿語り部の会」
- 「たかはた地区 語り部の会」
- 川西町「川西昔ばなしの会」
- 長井市「長井小町の会」
- 「平野昔語りの会」
- 白鷹町「鮎貝語り部クラブ」
- 小国町「話部ゆるり座」



「大人の語り」では、おきたま語り部の会の発表、「子どもの語り」では、民話を勉強した子供達の語りを披露してもらいます。今年、漆山小学校と中川小学校の児童が語ります！
 各地区の語り部さん、子供達の語りを楽しんでいただけます。入場料は無料ですので、どうぞお誘い合わせの上、ご来場下さい！



◆第六回
 「おきたま語り
 フェスティバル」

日時：六月二十八日(日)
 午後一時三十分～
 (午後三時終了予定)
 ◇大人の語り
 ◇子どもの語り

会場：夕鶴の里 語り部ホール

入場料：無料

主催：おきたま語り部の会
 実行委員会

お問い合わせ
 夕鶴の里

TEL 四七-五八〇〇
 (おきたま語り部の会事業
 実行委員会事務局)

※当日は、駐車場の混雑が予想されますので、無断駐車はご遠慮下さい。

事務所移転しました！

五月下旬、夕鶴の里の事務所の引越しが行われました！今まで「資料館」内に事務所・受付がありました。しかし、「語り部の館」へと移転しました。

夕鶴の里事務所・受付共に、「語り部の館」(元漆山公民館事務局)にございます。ご来館の際には、まっすぐ語り部の館へお進みください！



入口から入ってすぐが受付(事務所)です

おみやげコーナーも移動しました



漆山地区 地名伝説集

〈六部塔場〉

むかし、むかしあつたけど、日本全国を廻ってやった、一人の六部様いたつけど。

六部様って言うのはな、六十六部で言うて、ある願いをかけて全国六十六カ国を巡礼しながら、その地を代表するお寺様や神社に、お経とか、祭文とかを、お納めして歩く人のことを言うのだ。和尚様でもなく、法印様でもなくて、山伏みたいな修行者だったんだそう。途中の村で、病気の人があれば薬を与え、争い事があれば相談に乗ってあげるの、村々の人達からは尊敬されてたんだ。

あるとき、一人の六部様が四ツ谷を通り、大仏カッパ(山の名前)の辺りまで来たときに、急体の具合が悪くなり、その場に倒れていた。丁度そこを通りかかった人が、見つけて、助け起こし介抱してあげたが、ついにその場で息絶えて、すまっただ。

村人達は可哀相に思い、どこの国の住人だも分からなかったが、六部様のなきがらを、背負っておった筈と共に、道路の側に埋めてあげたのだ。そして、その場所に塔場建てて、念願半ばで亡くなった六部の霊を、慰めた



なだそう。むかしから、その場所を通るときには、必ず小石を拾って、塔場に積んだもんだ。

俺だ子供ころも、小石をお供えしたもんだが、今はその場所を、知ってる人も少なくなつたなよ。

とーびんと

※一説によれば、病の行き倒れではなく、稗田辺りに根拠を構えておった、野盗に殺害され金品を強奪されたが、六部の亡霊が現れ、祟りを為すので、供養の塔であつたと語られています。

年号は延享五年となっているが、延享は四年で改元に、なつているので、中央の年号改元が当地に及ぼすのには、どのくらいの時間がかかったのだろうか？

地名伝説担当編集

おりはたの里づくり
推進会議

おしらせ

今年も、「昔のあそび」を開催します！
お友達を誘って、遊びに来てね♪

★七月十八日(土)

牛乳パックで竹とんぼをつくらう

★九月二十六日(土)

秋の草花で遊ぼう

★十一月二十八日(土)

どら焼きをつくって食べよう

★一月二十三日(土)

おはぎをつくって食べよう

お蚕さまが来るよ～！

今年も夕鶴の里で、蚕の飼育が行われます！6月中旬には、大きくなった蚕が見れます。是非、遊びに来てください。



昨年のお蚕さま

花いっぱい運動♪



夕鶴の里職員で、今年も花を植えました！
マリーゴールド、ペチュニア、ペコニア、サルデリア、メランポジュールなど、色とりどりの花に彩られ、心が潤う気持ちになります。
すでに気温三十度近いような暑さが続いています、元気に、きれいに咲いてくれますように！